

この1年間子どもたちは、『少し挑戦してみる心』、そして、やってみたらできたという経験によって生まれた『自信』を様々なイベントや日々の保育の中で積み重ねてきました。さらに、どんな時も仲間と助け合って、『みんなの心を一つにする』ことをモットーに友だちとの毎日を過ごしました。日頃の保育の中でも、周りにいる友だちが助けたり、喧嘩の時には解決策を提案したりと、自分たちで話し合い自然と互いに助け合う姿が見られ、年長組での最終目標としていた『協調性』『社会性』『思いやり』の点について大きく成長が見られたように感じる1年でした。



子どもたちは、もうすぐ年長組が終わることにさみしさを感じながらも、最後の大きなイベントである卒園式を楽しみにしている姿があります。最後にどのような姿を見せたいのかを問いかけ一人一人の中で想像してみたら練習することで、いわれてやる練習とは全く異なる姿が見られました。卒園式とは何か、どんな自分でありたいか、今までのプロジェクト保育における自分で考えて行動に移すという積み重ねの集大成がこの卒園式での姿となるように感じます。私たちが当日の子どもたちの姿が楽しみです。

また、保護者の皆様には、いつも温かく見守っていただき、ご理解ご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。あつという間でしたが、子どもたちとの素敵な思い出の詰まった年長組での1年間でした。これからさらに成長していく姿が見られると思うと楽しみにいっぱいです。1年間本当にありがとうございました。(年長組チーム担任 福田莉子)



1年間ありがとうございました。進級当初は新しいクラスの友だちに緊張していた子どもたちも、毎日一緒に遊び、一緒に笑い合いながら、今では素敵なお兄さんお姉さんになりました。子どもたちが4月から小学生になることをとても楽しみにしていることが日々の様子から伝わってまいります。この1年間を年長組の子どもたちと共に過ごすことができ良かったです。また、保護者の皆様と子どもたちの成長や日々の様子を共有することが出来たことを嬉しく思っております。(年長組チーム担任 三並由香)

卒園を迎え、心も体も大きく成長した子どもたちの笑顔に、大きな喜びと幸せを感じています。

昨年の4月に年長組の担任になってから、あつという間の1年でしたが、子どもたちの成長を感じながら素敵な日々を過ごすことができました。子どもたちのまわりの人々への温かいまなざし、心に芽生え育っている感謝の気持ちは、これからも大切に持ち続けて欲しいと願っています。子どもたちの成長を見守る中で、たくさんのことを学ばせていただきました。

保護者の皆様には、いつもご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。これからもお子様の健やかな成長をお祈りしております。(年長組チーム担任 相澤伸子)

直前インフォメーション

○春季保育

3月11日(月)より春休みとなります。HPにアップしております手紙をご確認ください。

○卒園アルバム

卒園後、4月末～5月頃に発送予定です。楽しみになさってください。

○卒園後の住所変更

卒園後、『卒園児調査票』に記載いただいた住所から変更があった場合には、お手数ですが子ども園まで必ずお知らせください。

○緊急時引き渡しカード

お預かりしておりました緊急時引き渡しカードは子ども園にて破棄いたします。

○保護者 ID について (長時間タイプの方)

長時間タイプの方は最終登園日に回収となります。最終登園日につきましては、回答フォームにてご回答いただきます。

まだご回答いただいていない方は必ず事前にご回答ください。

なお、登降園の時に ID カードを付けない方もいらっしゃいます。登降園の際には必ず着用いただき、お迎え時には保護者 ID を玄関横にてタッチしてお入り下さい。



3月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪うれしいひなまつり

作詞 勝 承夫

作曲 ドイツ民謡

編曲 三森 桂子

- 1 あかりをつけましょ ぼんぼりに
おはなをあげましょ もものはな
ごにんばやしの ふえたいこ
きょうはたのしい ひなまつり
- 2 おだいきさと おひなさま
ふたりならんで すましがお
およめにいらした ねえさまに
よくにたかんじよの しろいかお
- 3 きんのびょうぶに うつるひを
かすかにゆする はるのかぜ
すこししろぎけ めされたか
あかいおかおの うだいじん
- 4 きものをきかえて おびしめて
きょうはわたしも はれすがた
はるのやよいこのよきひ
なによりうれしい ひなまつり



♪思い出のアルバム

作詞 増子 さとし

作曲 本多 鉄磨



- 1 いつのことだか おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと
いつになっても わすれない
- 2 はるのことです おもいだしてごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
ぼかぼかおにわで なかよくあそんだ
きれいなはなも さいでいた
- 3 なつのことです おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
むぎわらぼうしで みんなはだかんぼ
おふねもみたよ すなやまも
- 4 あきのことです おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
どんぐりやまの はいきんぐらら
あかいはっぱも とんでいた
- 5 ふゆのことです おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
もみのきかざって めりーくりすます
さんたのおじいさん わらってた
- 6 ふゆのことです おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
さむいゆきのひ あたたかいへやで
たのしいはなし ききました
- 7 いちねんじゅうを おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
もものおはなも きれいにさいて
もうすぐみんなは いちねんせい

3月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

『おめでとうかいぎ』

作・絵：浜田桂子 / 出版社：理論社

卒園した日、お布団でなかなか寝付けないゆうきくん。小学校にはどんな友だちがいるかな、先生は優しいかな、お友だちができるかな…。そんな時に話しかけてきたのは、なんとゆうきくんが使っていた通園バッグ。ゆうきくんのための特別な「おめでとうかいぎ」に招待され…？赤ちゃんの時から使っていた思い出のものに対してお別れを惜しむゆうきくんに対して、通園バッグはこれから出会う新しい友だちを紹介します。卒園とは寂しさだけではなく、明るい未来への第一歩なんだよということを教えてくれる絵本です。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。

ぜひ、ご家庭でも行ってみてくださいね。

少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになり、今年度も残りわずかとなりました。

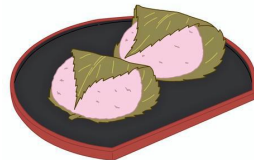
この1年でばら組もゆり組も給食の量が増えました。お皿もおかわりもピカピカにかえてくるので、とても嬉しです。他にもお箸が使えるようになったり、苦手なものが食べられるようになって、心も体も大きくなったように思います。

【春といえば桜餅】

桜餅は、桜にちなんだ和菓子であり、桜の葉で餅菓子を包んだもので、ひな菓子の一つでもあります。関東では、クレープのような薄い焼き皮の生地であんこをまいた形が定番です。江戸時代の長命寺の門番が散り積もった桜の葉を塩漬けにして餅をくるんで売ったのが始まりで、別名「長命寺」とも呼ばれます。一方関西では、もち米を使ったつぶつぶもちもちした食感の生地で、しっかりとあんこを包む姿が一般的。もち米を蒸してから乾燥させて粗く砕いた道明寺粉を使うことから、「道明寺」とも呼ばれます。同じ桜餅でも地域によって違いがあります。



【関東風】



【関西風】

3月3日はひなまつり！

女の子の節句として祝われているひな祭りは「桃の節句」とも呼ばれ、女の子の成長と幸せを願ってひな人形を飾り、色とりどりのお供え物をしてごちそうを食べてお祝いします。おひなさまは、病気やけがなど、よくないことからみんなを守ってくれる「お守り」と言われています。女の子だけでなく、男の子も一緒におひなさまを作ったり飾ったり、おいしい料理を食べて過ごしたことを子どもたちがたくさんお話してくれました。

【ちらし寿司】

寿司には「寿（ことぶき）を司る（つかさどる）」という意味もあり、縁起がよいとされています。

ちらし寿司に様々な具材を混ぜ合わせて作りますが、これには将来食べるものに困らないようにという願いが込められており、その具材それぞれにも意味があります。

- ・えび…腰が曲がるまで長生きできるように。
- ・レンコン…遠くまで見通せるように。
- ・豆…健康で豆に働けるように。



【はまぐりの潮（うしお）汁】

蛤は二枚貝で対の貝殻のみ組み合うことから、貝殻のようにぴったりと合う生涯のパートナーと一生添い遂げられるようにという願いが込められています。

【今年の春分の日は3月20日です！】

春分の日とは地球のどこにいても昼と夜の長さがほぼ同じにおなる日です。この日の前後はお彼岸の時期と重なるため、牡丹餅を食べるというイメージが強いのではないのでしょうか。

小豆は邪気を払い、魔除けの効果があるとされることから食され、ご先祖様へのお供え物として普及したようです。「自然をたたえ、生命をいつくしむ日」にちなみ、つくしやふきなど、自然を意識した旬の食材を食卓に並べてみてはいかがでしょうか。

